

---

# とある世界の詩《うた》

colors

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

とある世界の詩<sup>うた</sup>

### 【Nコード】

N8078C

### 【作者名】

colors

### 【あらすじ】

これはある少女の詩、これはある男の詩、これはある世界の詩…  
…この永遠の物語は終わることなく紡がれるのだろうか。

**（前書き）**

なんだかよくわからないものが出来てしまいました。  
それでもいい、っていう寛大な方だけどうぞ！

これはある少女の詩

少女は笑った（それは世界の平和となり）

少女は泣いた（それはこの世の悪夢となる）

少女は歌った（それは世界に幸福をもたらし）

少女は嘆いた（それはこの世の絶望となる）

少女の言葉は世界の全て 悪をもたらし平和を歌う

ただ

そうと知らずに、少女はただ愛する男のためだけに生きていく

男のために笑い、

泣き、歌い、嘆いて

大切なモノを想って死んでいく

幾度も幾度もただそれだけのために生きて死んでいく少女

少女の価値も知らずに幸せに暮らしていく男達

さて、ここで問題

一体この世界は誰のものでしょうか？

これはある男の詩

男の願いはただひとつ

この世で少女に愛されること

幾度も幾度も……その生を何度繰り返しても続く恋心

その思いが永遠に届くことがないと知りながらも、男は少女に恋焦がれる

愛してる……その思いは盲目的に

愛してる……他を犠牲にすることなど厭わないほど強く

愛してる……一途な恋心はやがて狂気へと化し

愛してる……右手に握られた銀色の包丁は煌めきと共に赤く染まる

その思いは永遠に届かず……ただ輪廻を繰り返すばかり

それでも男は永遠に

いつまでもいつまでも

ただ少女を愛し続ける

包丁は赤く煌めき、男は高らかに笑い

一つの愛は引き裂かれ

幸せそうに笑う男、苦しみ喘ぎ最期を迎える少女、その横で涙を流す少女に愛された男

トライアングルとも呼べぬ歪<sup>いびつ</sup>な関係

それでも男は笑い続ける

ほんの一瞬、少女の瞳に映った赤く染まる自らの姿 最期に映し出された憎しみの念

それだけ、ただそれだけなのに

それでも男は胸に灯る熱い想いに浮かされ笑う

さて、ここで問題

この男が最後に手に入れた想いは幸せと呼べるでしょうか ?

これはある世界の詩

ここで生じる一つの問題

矢印は一方通行

反対を向くことは永遠にありえない

少女は優しい男を愛し 男はただ少女を見つめ続け

世界を手に入れたことを知らない男は、少女を我が物顔で支配する

繰り返される輪廻は果たして運命と呼べるのだろうか？

少女は息絶え、少女に愛された男は嘆き

最期の一瞬少女に憎まれた男はいつまでも狂ったように笑い続ける

歪んだ愛情 生じる憎しみ

生まれる想いはどこまでも続いていく

この終わりのない物語の終止符は一体どこに打たれるのだろうか？

……ただ一つ、確かなこと

終わらせられるのは少女だけ

巡るたびに気付かされるその真実に

抗えるのは少女、ただ一人であるということ

物語はここでおしまい

書きかけのストーリー、終わらない世界

果たしてその先を紡いでいくのは誰なのだろう？

……例えば、その貴女

貴女なら、真実を得てそれでもなお終焉を選ぶ？

それともこれからも続いていく輪廻に身を委ねる？

大丈夫、たとえどんな世界が綴られようと

誰も文句は言わないのだから

さて、

この先も綴られていく物語　紡がれ続ける果て無き世界



必要な人形は……三人

いらっしやいませ、お客様

次なる犠牲者は、誰でしょうか？

（後書き）

……ありがとうございます。

詩とも小説ともいえないような代物ですが、読んでくださった寛大な皆さんに感謝します！色々とご指摘いただけるとありがたいです。ぜひ、よろしくおねがいします！！

幹

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8078c/>

---

とある世界の詩《うた》

2010年10月17日02時32分発行